

## 事業報告書

|                 |  |
|-----------------|--|
| 1 支援団体名         | 本明川を語る会  |
| 2 事業名称          | 第12回諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない～   |
| 3 実施日時          | 令和3年7月17日(土) 13:30～14:45   |
| 4 実施場所          | 諫早市民センター   |
| 5 事業目的、内容及びその効果 | <p>(事業実施状況・内容)</p> <p>本年は昭和32年7月の諫早大水害から64年を迎える。最近では大規模な水害等が発生しているため、諫早大水害を継承する活動の重要性を再確認しているところである。</p> <p>現今のコロナ禍で感染予防対策を考慮し、規模を縮小して本集会を開催した。</p> <p>(1) 諫早大水害記録映画上映</p> <p>(2) 体験者手記朗読<br/>『生きていた父の笑顔』(北諫早学校1年生松本善江作文)<br/>朗読: 鎮西学院大学生3年生学松下聖果・田中大空)</p> <p>(3) 体験者談<br/>渡瀬寛・古賀文朗</p> <p>(4) 天満町自治会の防災への取り組み発表<br/>報告者: 天満町自治会長堀口春紀</p> <p>(5) 合唱『本明川に捧ぐ』(一昨年本集会のビデオ上映)<br/>出演: 合唱団 コールすみれ・葡萄の会</p> |
|                 | <p>(事業実施効果)</p> <p>(1) コロナ禍で昨年は中止したが、今回は規模・人数等を縮小して実施した。約90人の来場者があった。</p> <p>(2) 本明川周辺の自治会による自主防災の初めての取り組み発表を取り入れ、内容の充実を図った。</p> <p>(3) 過去の大水害を継承することにより水害の悲惨さ、生命の大切さを再確認できた。</p> <p>(4) 防災対策の必要性等防災・減災意識の高揚が図られた。</p>   |
| 6 参加内訳          | 総人数 90名  |
|                 | (1) 主催者参加 15名  |
|                 | (2) 日本人参加(1)を除く 75名  |
|                 | (3) 外国人参加(1)を除く 0名   |

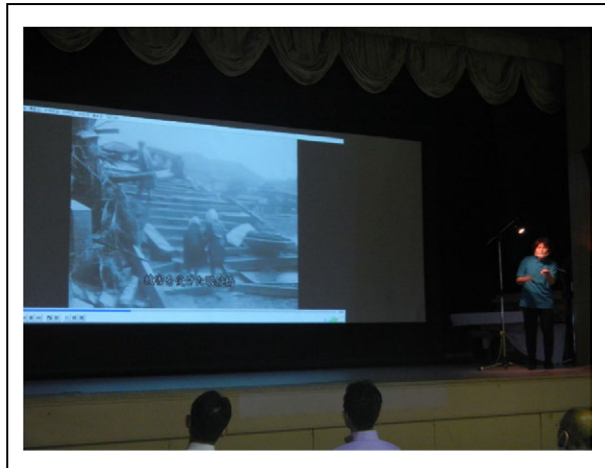
開会挨拶



合唱



大水害記録映像上映



手記朗読



体験者談



天満町自治会の防災への取組

